

FIS

私が留学で過ごした期間の中で一番印象に残っているのは FIS ファミリーとの交流です。私の FIS ファミリーは Patさんと Mindyさんです。このほか、Lindaさんと Mikeさんという方々とも交流させていただきました。始めは、バイクでのツーリングに連れて行ってもらって地元のハンバーガー屋さんに行きました。出会って間もないのですがフレンドリーに接してくれてすごく楽しい時間を過ごすことができました。それから毎週火曜日は FIS のみなさんと過ごす時間が増えました。それに加え、日曜日は教会に連れて行っていただきさらにネイティブのみなさんと交流する機会が増えました。また、バスケットボールの試合やガンショップへ行き、演劇を見に行くなど本場アメリカを肌で感じることができました。そして、Thanksgiving dayには Patさんと Mindyさんのお家に1週間泊まらせていただき、キャンプファイヤーや狩猟を体験させていただいてすごく充実した Thanksgiving Breakを過ごすことができました。しかしながら、狩猟のときに悪天候だったので予定していたものができなくなりました。そんなとき Patさんに「来週またしよう」と言っていたいただき、その次の週もお家に泊まらせていただき、それからの休日はほとんど Patさんのお宅で過ごさせていただきました。そんな日々は日本では決して味わえないような経験ばかりで驚きの連続でした。特に印象に残っているのは、銃を撃つという体験です。銃を撃つという文化は日本にはなく、銃を持ったことでさえ初めてでした。そして、ホットドッグをはじめとするアメリカンテイストの食べ物を作っていただいて一緒に食事を楽しむことができました。個人的にはすごく口に合い、フードシックを忘れさせるようなものでした。最後の卒業式にも来ていただいて自分たちのことを最後まで支えてくださいました。さらに、そのお別れの時間に Patさんから「いい男になるんだぞ」と言われ、自分の目標ができました。

このように Patさんをはじめとする FIS ファミリーの方々は私に多大なる影響力があり色々なことをおしえていただきました。Patさんは私にとって憧れであって人生においての目標でもあります。そんな人と過ごした時間は自分の人生にとって有意義なことでした。できることであれば、またこのような時間がもてることを私は願っています。